

編集後記

今月号の「特集」の取材でお邪魔した「元湯 陣屋」。街中に1万坪もある庭園に驚きました。四季折々に様々な顔を見せ、宿泊客を感動させているとのこと。映画監督の宮崎駿さんは陣屋経営者と親族の関係にあり、幼少期に陣屋で過ごした体験が名作「となりのトトロ」などの作品に反映されているとか。今度は、客としてゆっくり過ごしてみたいと思いました。(M)

働き方改革という大きな課題に直面し、企業各社だけではなく業界全体でも様々な取組みが行われています。特集で取材した大塚倉庫のオフィスは新しい取組みだらけ。大空間オフィス、倉庫ショールームエントランス、太鼓、キッチン、サイネージなど、名実ともに「新しいオフィス」というその環境は、既成概念やバイアスにとらわれず、柔軟に適応する自分自身をつくる創造空間でした。

働き方改革は自分改革。まずは柔軟なバランス感覚で仕事と生活を乗り切る“体幹”を鍛えなければと実感しました。(A)

発行 一般社団法人 日本建設業連合会
〒104-0032
東京都中央区八丁堀2-5-1
東京建設会館
TEL 03-3553-4095
FAX 03-3551-4954
URL <http://www.nikkenren.com/>

発行者 山本徳治
企画・編集 一般社団法人 日本建設業連合会
広報委員会

制作 株式会社Kプロビジョン
デザイン 株式会社コンセント
印刷 株式会社耕文社

©2018 日本建設業連合会
「ACE建設業界」は日本建設業連合会の登録商標です

年間購読料：4,800円(送料込)

関西テレビ開局60周年 特別ドラマ企画

『BRIDGE ～はじまりは 1995.1.17神戸～』

2019年1月15日(火)21時から、フジテレビ系列・関西テレビが開局60周年を記念して制作した特別ドラマ企画『BRIDGE ～はじまりは1995.1.17神戸～』が放送されます。

ドラマの軸となったのは、1995年1月17日午前5時46分に発生した阪神・淡路大震災。大打撃を受けたJR神戸線(東海道本線)のなかでも最も被害が大きかったJR六甲道駅は、駅舎と線路が倒壊し、東西をつなぐ大動脈が寸断される事態となりました。

JR西日本は直ちに復旧工事に着手。JR六甲道駅を担当した(株)奥村組は、持てる体力、知力、気力のすべてを注ぎ、震災発生からわずか74日後の4月1日、JR神戸線は通常では考えられない早期開通を成し遂げたのです。

ドラマはフィクションではありませんが、実際にJR六甲道駅復旧工事を担当した当時の現場担当者による監修、工事記録や映像・写真等の資料提供など、(株)奥村組が全面的に協力をして制作されました。非常事態のなか、極限状態で挑んだこの難工事が一体どのようなドラマになったのか。ぜひご覧ください。



神戸に“希望の橋”をかけた建設会社の工事所長・高倉昭役を井浦新さんが熱演! (提供: 関西テレビ)

≫お知らせ